

令和6年度 1学期 あおば3組 学級経営反省

担任 上村 有佑

4月に新学期を迎えてから、3か月経ちました。毎日の学習だけではなく、係の仕事や植物の水やりなどにも一生懸命取り組みながら過ごしています。7人がそれぞれの良さを発揮しながら、協力して様々なことに取り組む中で、成長を見せてくれています。学習面だけでなく、友達との関わり方やきまりを守ることの大切さなど、この1学期の間で学んだことを、もう一度振り返りながら、一人ひとりが自身の成長を感じて1学期を終えることができるよう、残りの期間も指導支援を行っていきます。

学級経営目標および反省	
1	他者との関わりの中で、他者を認め、自分のよさに気付くことができるようにする。 ◎ 友達の考えや意見に対して「すごいね」と発言したり、発表する友達に対して「頑張れ」と励ましの言葉をかけたりする姿が見られた。また、学習の中でも友達と協力して一緒に考えたり、進んで解き方を教えたりするなど、友達を助けることで自信をもつことができていると感じる。また、交流学級で、多くの友達と学習を進める中で身に付けた力を、あおば学級でも発揮することができている。 △ 相手の立場にたって考えながら行動することが難しく、友達を傷付けてしまうという場面が何度か見られた。今後も学級活動での話し合いやソーシャルスキルトレーニングを通して、他者とのより良い関わり方について指導していく必要があると感じる。
2	様々なことに挑戦し、成功体験を積むことで、自信をもつことができるようにする。 ◎ 国語では、2年生はカタカナの学習、6年生は2～5年生までに学習してきた漢字の復習を、授業の冒頭や宿題の中で継続的に取り組んできた。2年生は、カタカナや漢字の学習を通して、これまでよりも書くことに対する意欲が高まっている。文章を書く際にもカタカナや漢字を積極的に使って書こうとしており、学びを生活の中で活かそうとする姿が多く見られた。ノートの取り方についても今後は更に指導を行っていききたい。6年生は、漢字宅習への取組が少しずつ丁寧になってきていて、今後の定着に期待したい。学習では、算数の授業において既習事項の復習を行いながら、より発展的な新しい単元を、時間をかけてじっくり学んでいる。今後も4人それぞれの実態に応じた学習指導を行っていききたい。
3	多くのことに「気付き」「考え」「実行する」ことができるようにする。 ◎ チャイム着席が定着し、休み時間の間に次の学習の準備をする姿も見られるようになってきた。なかなか着席できない友達にも声をかけるなど、全体で意識して行動することができている。また、掃除への取組は素晴らしく、6年生が中心となって時間いっぱい隅々まで掃除することができている。 △ 身の回りの整理整頓について課題を感じる。今学期は、定期的に机の中や、カバン棚のチェックを行い、必要な物や不必要な物を一緒に確認し整理整頓に努めてきた。今後は、子どもたちが常に生活の中で整理整頓に対して高い意識をもつことができるよう指導を行っていききたい。
4	自分のことを、自分で解決しようとする。 ◎ 学習においては、自力解決の時間を大切にしながら進めており、まず一人で考えることでその後の全体での意見交流の中で、一人ひとりが新しい気付きに出会うことができている。また、子どもたち同士で意見を出し合い、話し合いながら学習問題に対する答えを導き出すこともできるようになってきた。今後も、自力解決への意欲を高めながら、友達との関わりの中で、自身の考えを深めていけるような授業を行っていききたい。生活の中でも、自分の力だけでは、解決することが難しいことについては、友達や担任に積極的に助けを求めることができおり、助けてもらった後には「ありがとう」と言葉にして感謝を伝えることもできている。このような姿勢も大切にしていってほしいと感じる。

